

「家庭学習MGC」実践例

始良市立帖佐中学校



校訓
自主 共同 永続 健康
学校教育目標
自立した生徒の育成

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ★ 規則正しい生活習慣やよりよい学習習慣・運動習慣が生徒たちの自立を高め、学力の基盤となると考えることから、生徒の家庭での生活や学習内容等を生活の記録「別府川」で見取くことを大切にする。
- ★ 精選した一斉課題を確実に実施するほか、「学習者主体の授業」実践の観点から、学力を定着させる有効な手立である家庭学習において、生徒が各自で自ら目標を設定し、自分のペースで進めていくような家庭学習の確立、習慣化を促していく。
- ★ 毎日120分以上（部活動終了後、3年生は180分）家庭学習に取り組めるとともに、週に1度は家庭での読書を実践する。
- ★ 学力向上アクションプランに係る帖佐中ブロックの取組をもとに、校区内の小学校と連携した家庭学習を検討し実践する。


帖佐中ブロックの共通実践事項

帖佐中フロックの取組 (帖佐中・帖佐小・建昌小・三船小・松原なぎさ小)

小中のなめらかな接続をめざして、帖佐中フロックの全小・中学校が連携して取り組んでいます。

① **学習の構えの確立**

- 授業前の黙想を徹底する（小学校高学年と中学校）。
- 聴くときは話す人の方に体を向け、しっかり聴く。
- 書くときは机と目の距離を意識し、背筋を伸ばして書く。
- 指名されたら、「はい」と返事をする。
- 前日に登校の準備を済ませ、忘れ物をしない。




② **学習環境の整備**

- 本時で使うものだけを出す。
- 机の中及び机・棚を整理する。
- 移動時の教室（机・いす）を整理する。

③ **家庭学習の習慣化**

- 小学校低学年は 40 分・中学年は 60 分・高学年は 90 分以上、中学校 120 分（部活動終了後の 3 年は 180 分）以上の学習に取り組む。
- テレビやゲーム、スマホ等の電源を切り、静かな環境で学習する。（携帯電話、スマホ、ゲーム等午後 9 時電源オフ）



生活のリズムを整え、睡眠時間を確保し、宿題をしっかりする習慣をつけましょう。

「家庭学習の手引き」(始良市教育委員会)から

○ MGCの取組

【帖佐中学校のMGC】

「生徒の『学びの自立』を育成するために、生徒が主体的に取り組む家庭学習」

★ポイント

- 1 漢字、英単語や計算の練習等の宿題（一斉課題）を継続的に取り組み、家庭学習の習慣化を図りましょう。
- 2 授業で分からなかった問題について、家庭学習で再度挑戦し、ワーク等でその定着を図るなど、自分に合った学習を実行しましょう。
- 3 得意教科や興味関心のある分野を中心に、家庭学習ではより発展的な学習にも挑戦してみましょう。
- 4 タブレットを活用して、授業の復習やドリル学習にも進んで取り組みましょう。
- 5 教科書等を活用し、単元で学ぶ内容を見通すことや、次時の授業の内容を把握するなど、家庭学習で学習の先取りをしてみましょう。
- 6 週末などの家庭学習では、例えば歴史で学習した文化等について、美術ではどのように説明されているかなど、興味関心のある事項について、教科を越えた学びにもじっくりと取り組んでみましょう。
- 7 自分で目標を設定して、毎日少しずつ体力づくりを行いましょう。

生徒のやる気を支える・見守る手立て

定期テストの2週間前には、学習計画表を配布して作成します。テストに向け家庭学習の充実を図ります。

[illegible]

生活の記録「別府川」で生徒の家庭学習の様子を見取ります。

7時 0分	就寝 10時 10分	検温 36.2 度
起床	理① 20 ⑦ 15	数② 10
家庭学習	国⑦ 15	
食事	英字 15	
作業	英字 20	合計学習時間 95分

6時 50分	就寝 10時 10分	検温 36.4 度
起床	理① 20	
家庭学習	英字 15	
食事		
作業		合計学習時間 35分